

小児救急の かかり方

あわて
ないで!

おちついて

＋ 子どもの事故は防げます! ＋

予防が大事

子どもの死亡原因第一位は「不慮の事故」。
子どもは自分で身を守ることができません。
成長や発達と共に危険の種類は変わっていきます。
子どもの目線で身の回りの危険を取り除くことが
何よりも大切なのです。

それでも事故が起こったら・・・

まずはあわてずに応急処置!
でも「こんな時はこうすればよい」、が
分かっていないと処置できません。
いざという時のために、
基礎的な知識を身につけましょう。



＋ 救急にかかる前に ＋

症状をよく観察しましょう。

少しでも調子が悪い時は、「かかりつけ医」に見てもらうのが一番。
でも、夜間や休日に限って具合が悪くなるものですね。
翌日まで待てるかどうか、お子さんの様子を把握しなければなりません。

この症状は危険かも!?

翌日まで待てない状態であれば、救急車を呼ぶ、
もしくは救急医療機関にかかる必要があります。
判断のポイントを症状別に整理します。